

西東京市の障害者福祉に関する調査報告書

【概要版】

令和2年3月

西東京市

1. 調査の目的

令和2年度に『第5期西東京市障害福祉計画・第1期西東京市障害児福祉計画』を見直し、令和3年度～5年度を計画期間とする第6期西東京市障害福祉計画・第2期西東京市障害児福祉計画の策定に向けて、市内に在住する障害者および障害児などの生活状況、福祉サービスの利用状況及び今後の意向を把握し、次期計画に必要な障害福祉・障害児福祉施策の現状把握のための基礎資料を作成することを目的として実施しました。

2. 調査対象および方法、回収状況

① 市民向け調査

対象地域：西東京市在住の市民

抽出方法：調査対象に該当する母集団から無作為抽出

調査期間：令和元年10月11日（金）～令和元年10月27日（日）

調査方法：郵送配布、郵送回収

※発達障害者の方には関係機関に在所した際、調査協力を賛同した者のみに配布し、郵送回収。

対象種別による対象者、発送数は以下の表の通り。

番号	対象種別	対象者	発送数	回収数	回収率
01	身体障害者調査	身体障害者手帳所持者	910人	427件	46.9%
02	知的障害者調査	愛の手帳（療育手帳）所持者	215人	101件	47.0%
03	精神障害者調査	精神障害者保健福祉手帳所持者	240人	77件	32.1%
04	自立支援医療費制度受給者調査	自立支援医療（精神通院）を受けている方	100人	40件	40.0%
05	難病患者調査	難病医療費等助成対象疾病を患っている方	200人	95件	47.5%
06	発達障害者調査	発達障害と診断されたことがある方	50人	1件	2.0%
07	児童調査	障害者手帳を持っている、自立支援医療（精神通院）を受けている、難病医療費等の助成対象となっている児童・児童の保護者	300人	128件	42.7%
合計			2,015人	869件	43.1%

※発達障害者調査については、回収数が少なく、統計的な有意性を担保できないことから、障害種別による結果を割愛しています。なお、調査全体集計には反映されています。

② 事業所向け調査

対象地域：西東京市から施設入所支援の決定を受けた方が入所している市内外の障害者施設

抽出方法：調査対象に該当する母集団から無作為抽出

調査期間：令和元年 10 月 11 日（金）～令和元年 10 月 27 日（日）

調査方法：郵送配布、郵送回収

対象種別による対象者、発送数は以下の表の通り。

番号	対象種別	対象者	発送数	回収数	回収率
08	施設入所者調査	西東京市から支援決定を受けた 方が入所している障害者施設	50 件	36 件	72.0%
合計			50 件	36 件	72.0%

3. 調査結果のまとめ

利用者・介助者の高齢化の状況

障害のある大人の年齢は、全体では「70 歳以上」が半数近く（44.5%）となっており、特に身体障害のある人や難病を患っている人が顕著です。

知的障害のある人は「39 歳以下」が半数となっており、他の障害種別に比べて若い世代が多くなっていますが、主な介助者の年齢が「60 歳以上」となっている人は 46.9%となっており、本人が若くても、介助者の半数近くが高齢の方となっています。

18 歳未満の障害のある子どもの主な介助者についても、「40 歳から 59 歳」が 79.6%と大部分を占めており、子どもが 40 歳代となる今後 20 年以上の間に、現在の主な介助者の大半が 60 歳を超えることとなります。

障害者差別・偏見の状況

障害を理由にした差別・偏見について、障害のある大人全体では、「ほとんど感じることはない」が 54.8%と半数以上となっており、「たまに感じる」は 6.1%となっています。

「ほとんど感じることはない」は身体障害のある人や自立支援医療（精神通院）を利用している人、難病を患っている人で半数以上となっていますが、知的障害のある人や精神障害のある人では「たまに感じる」が 4 割近くと大半となっています。特に精神障害のある人は「いつも感じる」が 14.3%と、障害種別の中でも最も高くなっています。

一方で、18 歳未満の障害のある子どもでは、「ほとんど感じることはない」は全体で 25.8%となっており、大人に比べて低くなっています。一方で「たまに感じる」は 57.0%と半数以上となっており、障害種別でも「たまに感じる」がすべての種別で大半を占めており、子どもは大人に比べて障害や偏見を感じる事が多くなっています。

差別や偏見を受けた場所は、大人・子どもともに「バスや電車などの交通機関」が最も高く、大人では 38.9%、子どもでは 52.7%となっています。

子どもの学校生活などの状況

18 歳未満の障害のある子どもが学校生活などで困っていることは、全体では「（保護者が）付き添うための負担が大きい」が 27.3%と最も高くなっています。一方で、「特に困っていることはない」は 33.6%となっています。障害種別で見ると、精神障害のある子どもでは、「特に困っていることはない」は 8.3%と他の障害種別に比べて低く、困っていることとしては「先生や職員の理解や配慮が足りない」が 41.7%と最も高くなっています。

学校下校後の放課後の過ごし方については、「家族といる」が 34.4%と最も高く、「放課後等デイサービスに行く」が 32.8%となっています。「放課後等デイサービス」の利用については、精神障害のある子どもや、自立支援医療（精神通院）を利用している子どもは 1 割以下となっており、他の子どもに比べて低く、反面「家族といる」が高くなっています。

高校卒業の暮らし方については、全体では「会社などで働きたい」が 18.8%、「学校（大学や専門学校など）に通いたい」が 14.1%となっており、「わからない」は 22.7%となっています。

「会社などで働きたい」は精神障害のある子どもや発達障害のある子どもで高くなっており、「学校（大学や専門学校など）に通いたい」は身体障害のある子どもや自立支援医療（精神通院）を利用している子どもで高くなっています。

大人の日々の生活状況

障害のある大人のうち、収入を伴う仕事をしている人は、全体では「仕事をしている」が28.5%、「仕事をしていない」が61.9%となっています。障害種別で見ると、若い人の多い知的障害のある人の61.4%が何らかの仕事についています。

仕事をする上で困っていることとしては、全体では「給与や工賃などの収入が少ない」が41.2%と最も高く、障害種別で見ても高い傾向にあります。一方で「特に困っていることはない」は30.3%となっており、特に身体障害のある人で40.7%と高くなっています。

「特に困っていることはない」が低い、知的障害のある人や自立支援医療（精神通院）を利用している人では、「職場の人間関係が難しい」や「職場の人の障害に対する理解が不足」といった、職場の同僚に関する悩みが高くなっています。また、「通勤の負担が大きい」は自立支援医療（精神通院）を利用している人や難病を患っている人で高くなっています。

障害のある大人の趣味や楽しみについては、「趣味や楽しみがある」は全体で64.1%となっており、障害種別でも全てで6割以上となっています。

趣味や楽しみの内容については、全体では「テレビやビデオ、映画などの鑑賞」が63.2%と最も高くなっています。

知的障害のある人では「近所へ出かけること」が42.2%となっており「テレビやビデオ、映画などの鑑賞」に次いで高くなっていますが、一方で差別や偏見を感じた場所として「バスや電車などの交通機関」「スーパーやレストラン」といった身近な場所が高くなっています。

障害福祉サービスの利用状況

障害のある大人のうち、「福祉サービスを利用したことがない人」は56.4%と半数以上となっています。福祉サービスを利用している割合が高い知的障害のある人では、「就労継続支援」や「生活介護」といった日中活動を支えるサービスの利用が高くなっています。

5年後の暮らし方については、「ひとり暮らし」や「自宅で暮らす」が高く全体の6割以上となっており、「グループホーム」や「施設に入所」は約1割となっています。「グループホーム」は知的障害のある人で32.7%と最も高くなっています。

一方で、「わからない」は全体で19.7%となっており、知的障害のある人を除く全ての障害種別で約2割が自身の5年後の生活をイメージすることができていません。

障害のある子どもでは、「福祉サービスを利用したことがない人」は31.3%となっており、大人に比べると低くなっています。福祉サービスを利用している割合が高い知的障害のある人では、「放課後等デイサービス」が67.8%と大半を占めています。一方で、「放課後等デイサービス」は身体障害のある人や精神障害のある人では利用割合が低くなっています。

障害福祉施策の満足度

西東京市における障害福祉策の満足度について、「満足している」「やや満足」は障害のある大人で23.4%となっており、障害のある子どもでは16.4%となっています。また、「やや不満」「不満」は、障害のある大人で13.9%、障害のある子どもでは48.4%となっており、大人に比べて子どもでは満足度が低くなっています。

一方で、障害のある大人では、満足度が「わからない」が30.1%と、子ども（8.6%）に比べて高く、福祉サービスの利用率が大人は低いこともあり、サービスの評価自体を行うことができない人が多くなっています。

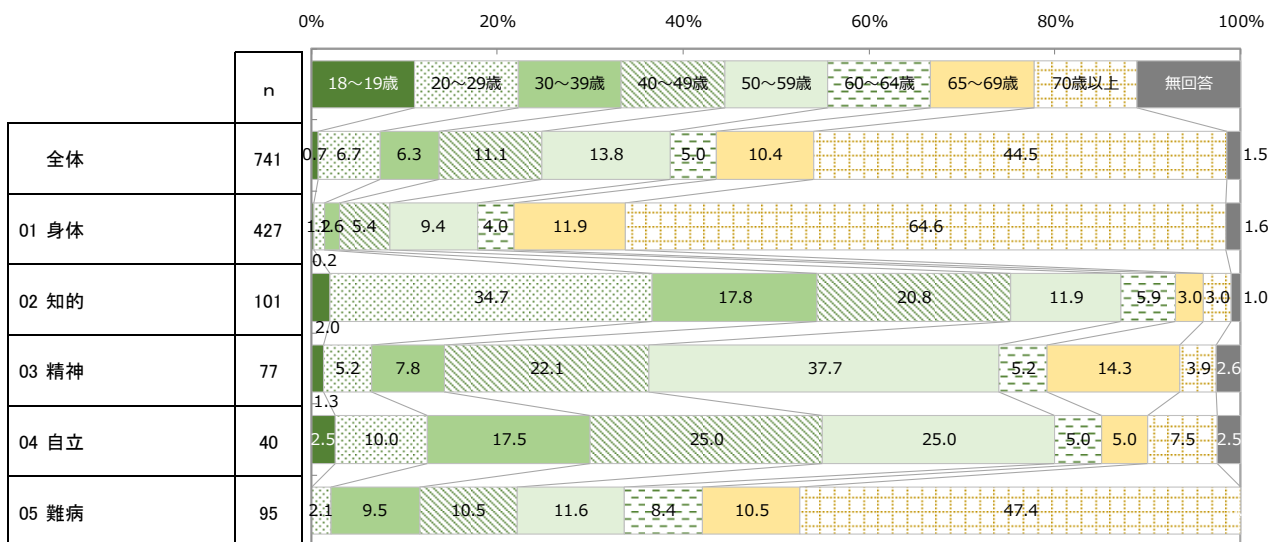
4. 障害者調査の結果

① 対象者の年齢

問 あなたの年齢をお答えください。【令和元年10月1日現在】 (○は1つだけ)

全体でみると、「70歳以上」が44.5%と最も高く、次いで「50～59歳」が13.8%、「40～49歳」11.1%の割合となっている。

障害種別では、「70歳以上」は身体で64.6%、難病で47.4%と高くなっている。一方で、知的は若い世代で多く「29歳以下」が36.7%となっている。



② 同居している人

問 あなたはどなたと一緒に暮らしていますか。 (○はいくつでも)

全体でみると、「配偶者」が41.8%と最も高く、次いで「子ども」22.4%、「母親」20.5%の割合となっている。

障害種別でみると、身体・難病は同居者の中で「配偶者」の割合が高く、身体では52.2%、難病で60.0%となっている。また、知的・精神・自立では「父親」「母親」との同居が高くなっている。

		調査数	ひとり暮らしをしている	配偶者(夫、妻)・パートナー	子ども	子どもの配偶者・パートナー	父親	母親	祖父	祖母	兄弟・姉妹	親戚	福祉施設の職員や仲間	その他	無回答
全体		741	19.7	41.8	22.4	3.4	15.0	20.5	0.5	0.7	8.2	0.3	5.7	1.8	1.8 (%)
障害種別	身体	427	21.3	52.2	27.2	4.9	4.7	6.8	0.2	0.2	3.5	0.2	4.4	1.9	1.9
	知的	101	2.0	2.0	5.0	0.0	55.4	69.3	2.0	4.0	32.7	1.0	18.8	1.0	1.0
	精神	77	26.0	22.1	10.4	0.0	26.0	37.7	1.3	0.0	5.2	0.0	1.3	5.2	3.9
	自立	40	30.0	27.5	17.5	0.0	22.5	37.5	0.0	0.0	17.5	0.0	2.5	0.0	2.5
	難病	95	21.1	60.0	31.6	4.2	6.3	9.5	0.0	0.0	2.1	0.0	2.1	0.0	0.0

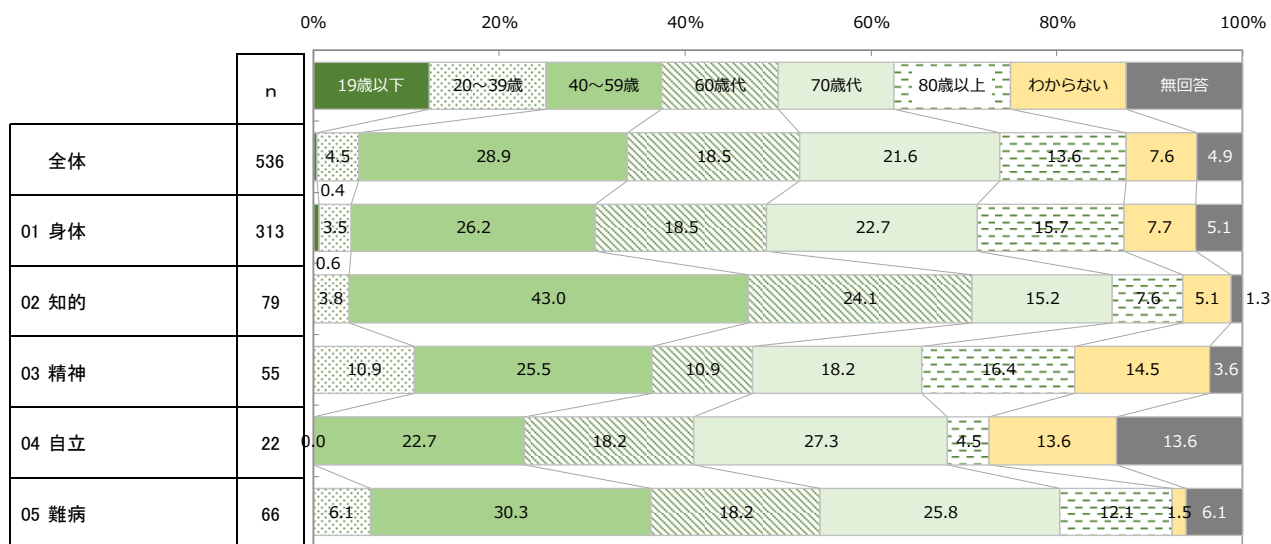
③ 介助・支援者の年齢

問 主な介助者の方の年齢をお答えください。

※年齢がわからない場合は「7. わからない」に○をしてください。 (○は1つだけ)

全体でみると「40～59歳」が28.9%と最も割合が高く、次いで「70歳代」が21.6%、「60歳代」が18.5%の割合となっている。

障害種別でみると、知的では「59歳以下」が46.8%と他に比べて高くなっている。一方で身体・自立では「60歳以上」が半数を超えている。



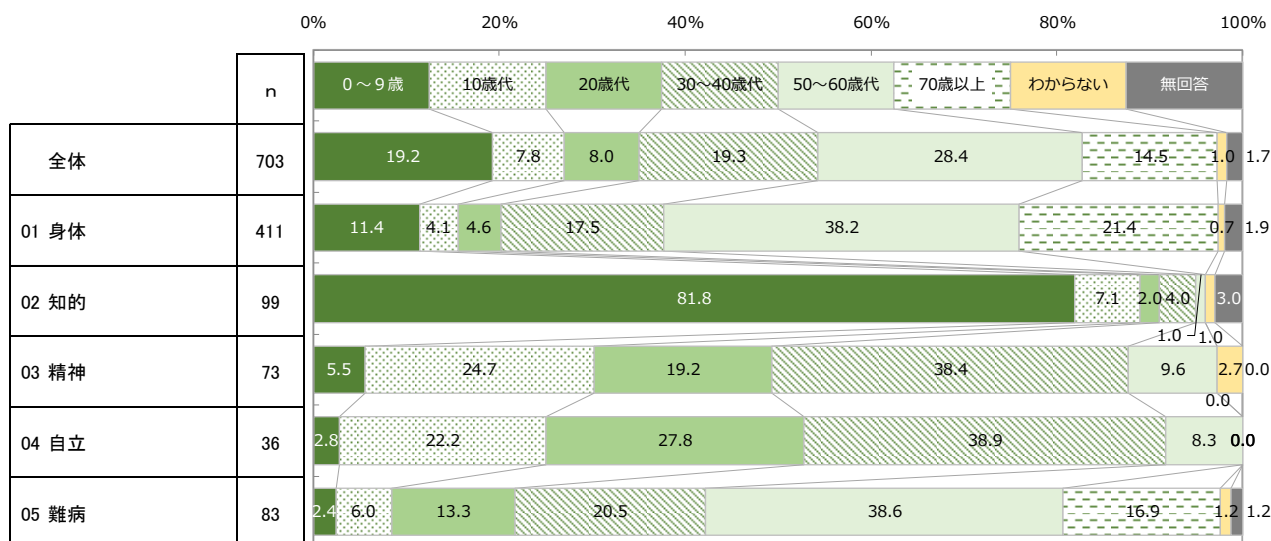
④ 障害に気づいた年齢

問 次のうち、あてはまるものに○をつけてください。

(○は1つだけ)

全体でみると「50～60歳代」が28.4%と最も高く、次いで「30～40歳代」が19.3%、「0～9歳」が19.2%となっている。

障害種別でみると、知的では「0～9歳」が81.8%と大半を占めている。また、精神や自立については「10歳代」までで約3割となっている。一方で、身体や難病は「50～60歳代」が最も高くなっており、身体で38.2%、難病で38.6%となっている。



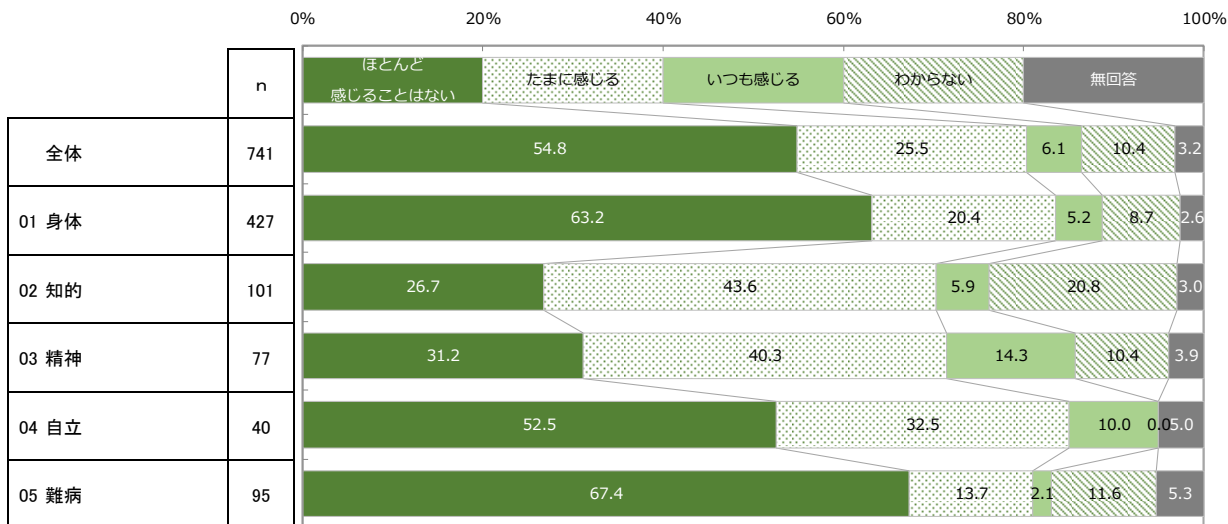
【概要版】

⑤ 差別・偏見を感じたこと

問 あなたはこの1年間で障害を理由とした差別や偏見を受けたり、嫌な思いを感じたことはありますか。(〇は1つだけ)

全体でみると「ほとんど感じることはない」が54.8%と最も高く、次いで「たまに感じる」が25.5%、「わからない」が10.4%となっている。

障害種別でみると、身体・自立・難病では「ほとんど感じることはない」が半数を超えている。一方で、知的・精神では「たまに感じる」が約4割と最も高く、特に精神では「いつも感じる」が14.3%と全ての障害種別の中で最も高くなっている。



⑥ 差別・偏見を受けた場所

問 この1年間で差別や偏見を受けたり、嫌な思いを感じた場所をお答えください。(〇はいくつでも)

全体でみると、「バスや電車などの交通機関」が38.9%と最も高く、次いで「スーパーやレストラン」が25.6%、「病院などの医療機関」が20.5%となっている。

障害種別でみると、身体・知的では「バスや電車などの交通機関」で受けた割合が高く、特に知的では70.0%となっている。精神では「病院などの医療機関」が35.7%と最も高く、自立・難病では「学校や職場」が最も高くなっている。

		調査数	学校や職場	市役所などの公的機関	病院などの医療機関	福祉サービス事業所	スーパーやレストラン	バスや電車などの交通機関	面接などの就職活動の場	余暇活動の場	その他	無回答
全体		234	12.8	10.3	20.5	8.5	25.6	38.9	7.3	15.0	14.5	3.8 (%)
障害種別	身体	109	5.5	10.1	19.3	10.1	23.9	32.1	3.7	12.8	17.4	3.7
	知的	50	16.0	4.0	8.0	6.0	48.0	70.0	6.0	14.0	8.0	2.0
	精神	42	14.3	16.7	35.7	11.9	9.5	33.3	16.7	21.4	11.9	4.8
	自立	17	35.3	11.8	17.6	5.9	29.4	23.5	17.6	17.6	23.5	5.9
	難病	15	26.7	13.3	26.7	0.0	6.7	20.0	0.0	13.3	13.3	6.7

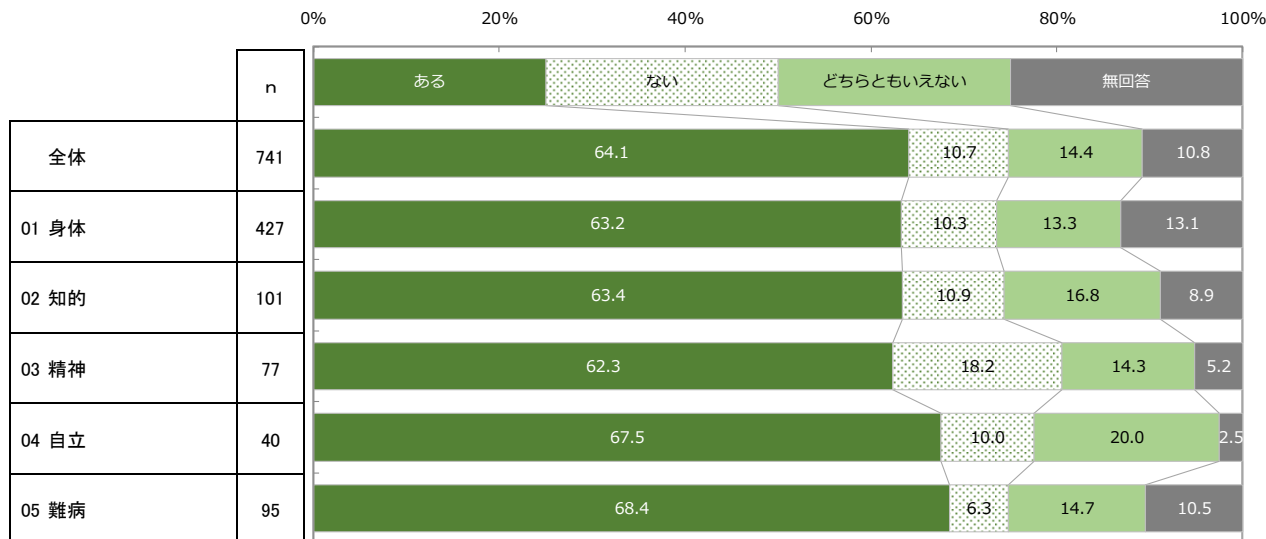
⑦ 趣味や楽しみ

問 あなたには、趣味や楽しみがありますか。

(○は1つだけ)

趣味や楽しみについて、障害者全体でみると「ある」が64.1%と最も高く、次いで「どちらともいえない」が14.4%、「ない」が10.7%となっている。

障害種別でみると、全ての種別で「ある」が6割を超えている。一方で、「ない」は精神で18.2%となっている。



⑧ 趣味や楽しみの内容

問 あなたの趣味や楽しみをお答えください。

(○はいくつでも)

全体でみると、「テレビやビデオ、映画などの鑑賞」が63.2%と最も高く、次いで「買い物」が40.2%、「友人や知人との遊び」が26.3%となっている。

障害種別でみると、身体・知的・自立・難病で「テレビやビデオ、映画などの鑑賞」の割合が6～7割となっている。一方で、精神では「演奏や歌などの音楽活動」が29.2%と他に比べて高くなっている。

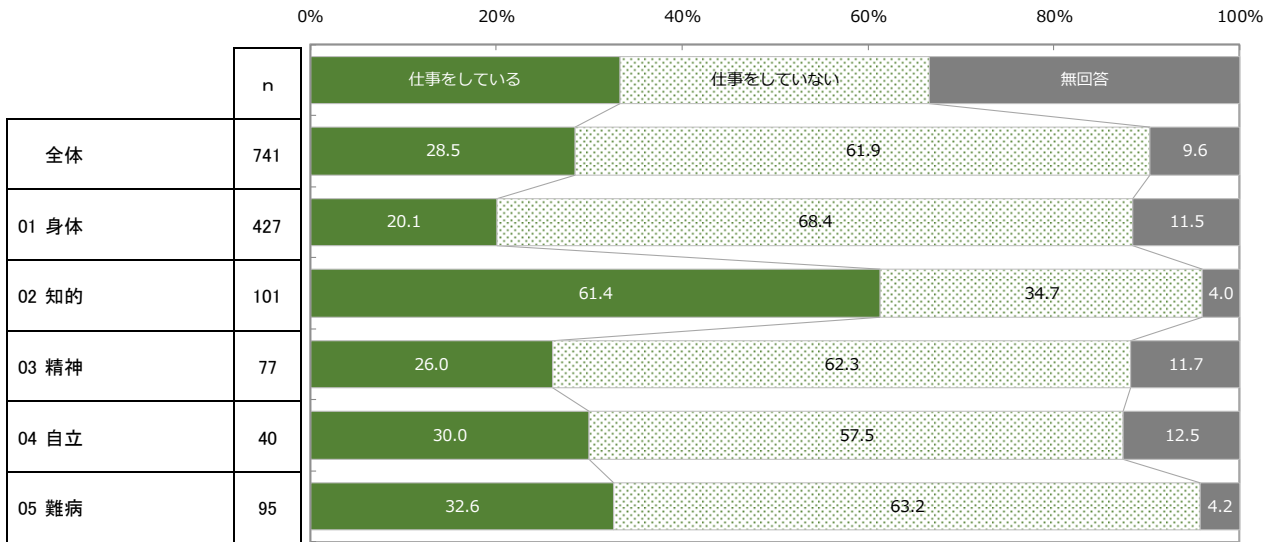
		調査数	スポーツやダンスなど体を動かすこと	絵画や工作などの美術活動	演奏や歌などの音楽活動	仕事や家事の手伝い	友人や知人との遊び	テレビやビデオ、映画などの鑑賞	近所へ出かけること	旅行	買い物	その他	無回答
全体		475	19.4	13.5	16.8	13.9	26.3	63.2	24.2	25.5	40.2	27.4	0.2 (%)
障害種別	身体	270	18.5	13.3	17.0	13.3	29.3	64.8	20.7	32.2	41.5	26.3	0.4
	知的	64	26.6	12.5	18.8	20.3	15.6	68.8	42.2	21.9	37.5	34.4	0.0
	精神	48	12.5	14.6	29.2	14.6	25.0	43.8	18.8	12.5	33.3	33.3	0.0
	自立	27	18.5	11.1	0.0	14.8	18.5	74.1	22.2	14.8	33.3	22.2	0.0
	難病	65	21.5	15.4	12.3	9.2	29.2	61.5	24.6	15.4	44.6	23.1	0.0

⑨ 収入が伴う仕事をしている

問 現在、あなたは収入を伴う仕事をしていますか。 (〇は1つだけ)

全体で見ると、「仕事をしていない」が61.9%と最も高く、次いで「仕事をしている」が28.5%となっている。

障害種別で見ると、知的では「仕事をしている」が61.4%となっており、他の障害では2～3割程度となっている。



⑩ 仕事で困っていること

問 仕事をする上で困っていることをお答えください。 (〇はいくつでも)

全体で見ると、「給与や工賃などの収入が少ない」が41.2%と最も高く、次いで「特に困っていることはない」が30.3%、「通勤の負担が大きい」が18.0%となっている。

障害種別で見ると、「給与や工賃などの収入が少ない」は知的・精神で高く、約5割となっている。また、身体では「特に困っていることはない」40.7%、自立では「通勤の負担が大きい」が50.0%となっている。

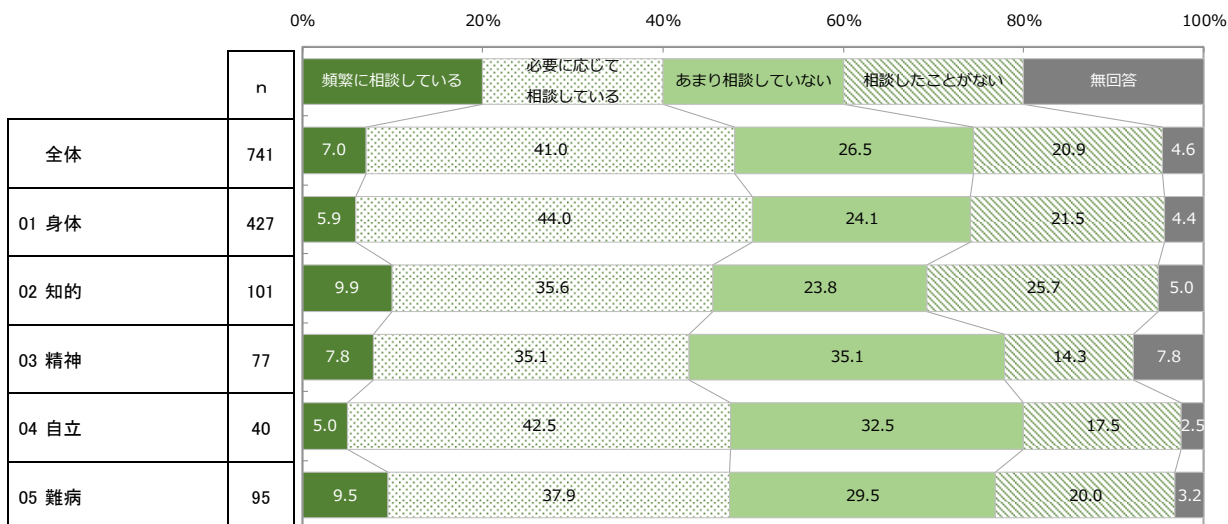
		調査数	給与や工賃などの収入が少ない	勤務時間・日数の負担が大きい	通勤の負担が大きい	職務内容が自分に合わない	職場の人間関係が難しい	職場の設備が障害に対応していない	職場の人の障害に対する理解が不足	職場での悩みを相談できるところがない	その他	特に困っていることはない	無回答
全体		211	41.2	12.8	18.0	5.2	15.6	3.3	10.9	8.5	5.2	30.3	2.4 (%)
障害種別	身体	86	32.6	17.4	17.4	7.0	8.1	3.5	4.7	8.1	4.7	40.7	3.5
	知的	62	48.4	3.2	8.1	3.2	24.2	6.5	16.1	6.5	8.1	17.7	1.6
	精神	20	55.0	0.0	15.0	0.0	25.0	0.0	10.0	10.0	0.0	35.0	0.0
	自立	12	41.7	8.3	50.0	8.3	25.0	0.0	25.0	16.7	8.3	16.7	0.0
	難病	31	41.9	29.0	29.0	6.5	9.7	0.0	12.9	9.7	3.2	29.0	3.2

⑪ 悩みや将来についての相談

問 あなたは、自分の現在の悩みや将来について、親族や親戚と相談していますか。
(〇は1つだけ)

全体でみると、「必要に応じて相談している」が41.0%と最も高く、次いで「あまり相談していない」が26.5%、「相談したことがない」が20.9%となっている。

障害種別でみると、障害によって相談の状況に大きな差はなく、「あまり相談していない」「相談したことがない」が半数近くを占めている。



⑫ 情報取得やコミュニケーションをとる際に困っていること

問 普段の生活の中で情報を取得したりそれらのコミュニケーションをとる際に困っていることをお答えください。
(〇はいくつでも)

全体でみると、「特にない」が45.9%と最も高く、次いで「周囲との意思疎通がとりづらい」が19.8%、「緊急時や災害時の情報が入りにくい」が16.9%となっている。

障害種別でみると、身体・自立・難病は「特にない」の割合が半数を超えている。一方で、知的では「周囲との意思疎通がとりづらい」が60.4%、「困っていることを周りに伝えられない」が57.4%となっている。

	調査数	数字、音声の出版物が少ない	公的な場での音声案内が不足している	少ない手話や要約筆記ができる人が少ない	公共施設の案内表示がわからない	インターネットが利用しにくい	周囲との意思疎通がとりづらい	伝えられないことを周りに伝えにくい	緊急時や災害時の情報が入りにくい	郵便物の重要度がわからない	その他	特にない	無回答	
全体	741	0.3	2.7	1.2	5.9	5.7	19.8	16.2	16.9	9.2	3.1	45.9	14.6 (%)	
障害種別	身体	427	0.2	3.7	1.4	4.9	5.4	9.6	5.9	15.2	4.2	2.8	52.0	17.3
	知的	101	0.0	1.0	0.0	10.9	5.9	60.4	57.4	20.8	28.7	2.0	18.8	9.9
	精神	77	1.3	1.3	2.6	7.8	5.2	24.7	26.0	16.9	14.3	5.2	36.4	11.7
	自立	40	0.0	0.0	0.0	10.0	7.5	27.5	15.0	12.5	7.5	7.5	55.0	7.5
	難病	95	0.0	2.1	1.1	2.1	6.3	15.8	11.6	22.1	7.4	2.1	51.6	11.6

【概要版】

⑬ 福祉サービスの利用

問 あなたは、次の障害福祉サービスを過去1年間に利用したことがありますか。
(〇はいくつでも)

全体でみると「利用したことがない」が56.4%と最も高く、次いで「訪問系サービス」が11.1%、「相談支援」が8.1%となっている。

障害種別でみると、身体・精神・自立・難病では「利用したことがない」の割合が高く、身体では63.2%、精神では50.6%、自立では60.0%、難病では64.2%の割合となっている。知的では「就労継続支援」の割合が高く、26.7%となっている。

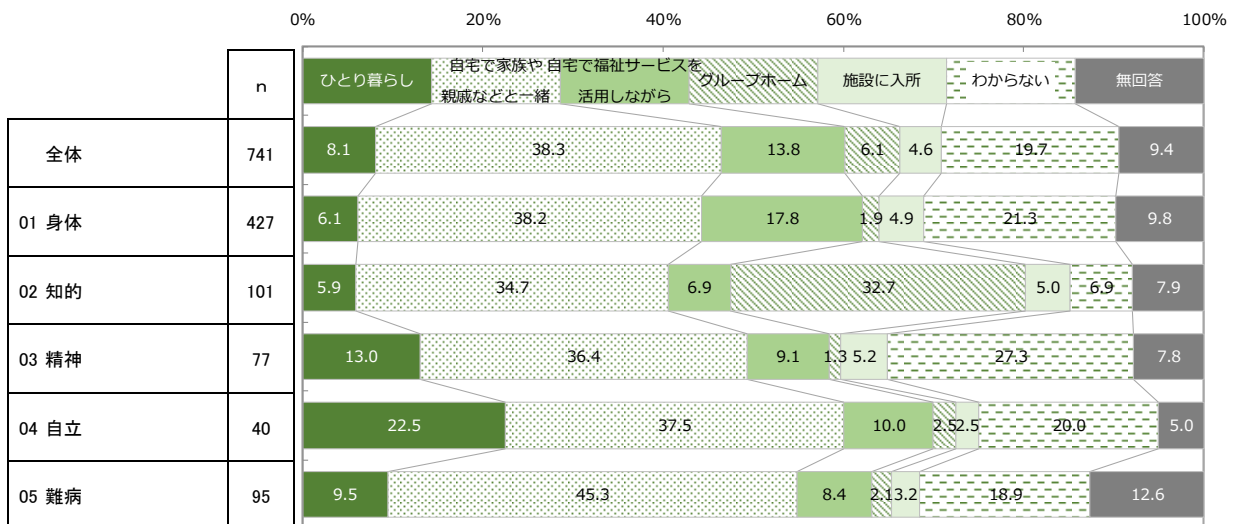
	調査数	訪問系サービス	生活介護	訓練 自立訓練 (機能訓練・生活)	就労移行支援	就労継続支援 (A型・B型)	就労定着支援	療養介護	短期入所 (ショートステイ)	グループホーム	施設入所支援	自立生活援助	相談支援	利用したことがない	無回答	
全体	741	11.1	6.9	6.9	2.0	6.1	1.2	3.6	6.6	4.6	1.3	2.2	8.1	56.4	11.2	
障害種別	身体	427	11.7	4.2	7.7	0.5	1.2	0.0	4.0	4.2	1.6	1.2	1.9	5.9	63.2	12.2
	知的	101	16.8	21.8	5.0	5.0	26.7	2.0	1.0	18.8	20.8	2.0	1.0	15.8	22.8	5.9
	精神	77	7.8	2.6	5.2	6.5	13.0	6.5	2.6	2.6	7.8	1.3	6.5	10.4	50.6	13.0
	自立	40	5.0	2.5	2.5	7.5	5.0	5.0	5.0	2.5	0.0	2.5	0.0	2.5	60.0	12.5
	難病	95	7.4	8.4	8.4	0.0	1.1	0.0	5.3	9.5	0.0	1.1	2.1	10.5	64.2	10.5

⑭ 5年後どのように暮らしたいか

問 今から5年後にあなたはどのように暮らしたいですか。最も近いイメージをお答えください。
(〇は1つだけ)

全体でみると「自宅で家族や親戚などと一緒に暮らしたい」が38.3%と最も高く、次いで「わからない」が19.7%、「自宅で訪問や通いの福祉サービスを活用しながら暮らしたい」が13.8%となっている。

障害種別でみると、「自宅で家族や親戚などと一緒に暮らしたい」はすべての種別で高く3割以上を占めている。また、自立では「ひとり暮らし」が22.5%となっている。



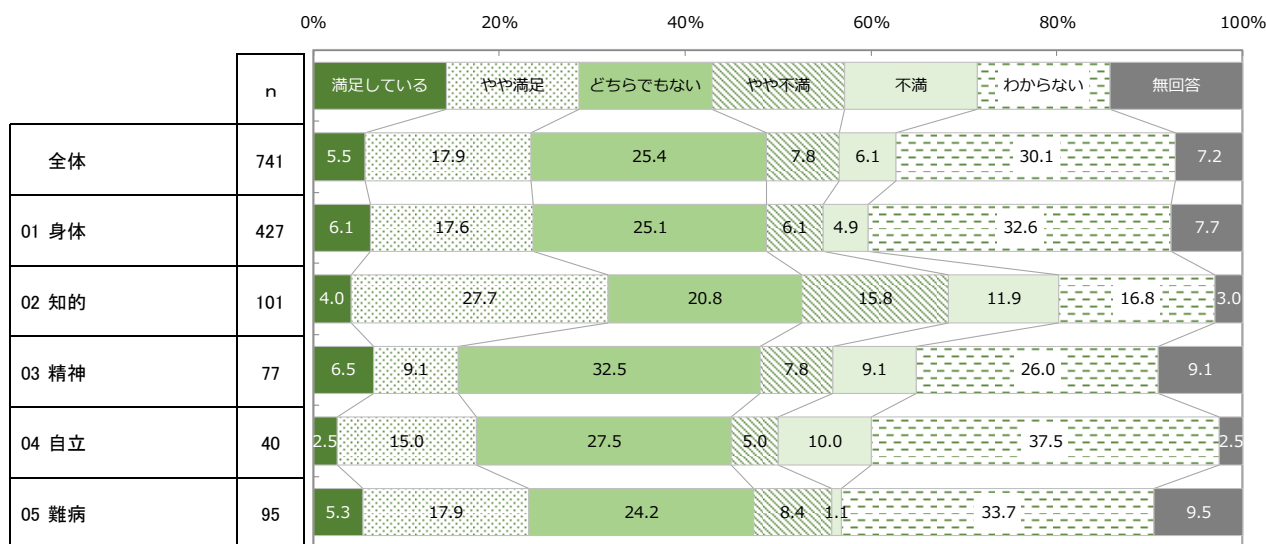
⑮ 障害者施策について満足しているか

問 あなたは、西東京市の障害者施策全般について、総合的に満足していますか。

(○は1つだけ)

全体で見ると、「わからない」が30.1%と最も高く、次いで「どちらでもない」が25.4%、「やや満足」が17.9%となっている。

障害種別で見ると、知的をのぞくすべての種別で「わからない」が3～4割を占めている。また、「不満」「やや不満」は知的で27.7%となっている。



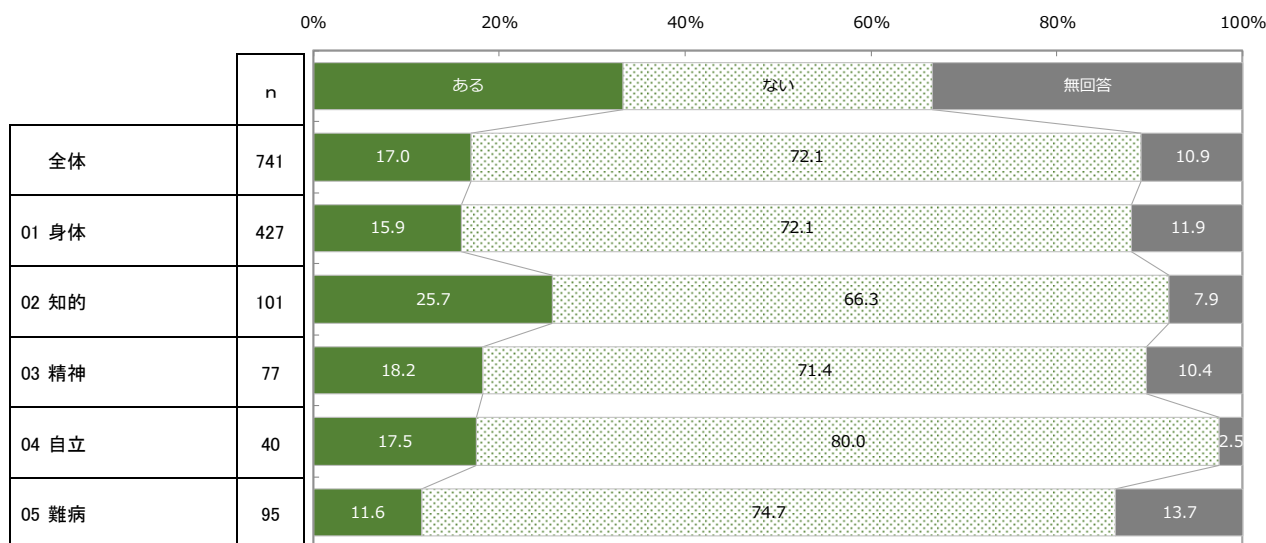
⑯ 自宅以外で居心地がいい場所

問 あなたには、西東京市内に自宅以外で居心地のいい場所がありますか。

(○は1つだけ)

全体で見ると、「ない」が72.1%と最も高く、次いで「ある」が17.0%、「無回答」が10.9%となっている。

障害種別で見ると、知的をのぞくすべての種別で「ない」が7割を上回っている。知的では「ない」が66.3%、「ある」が25.7%となっている。



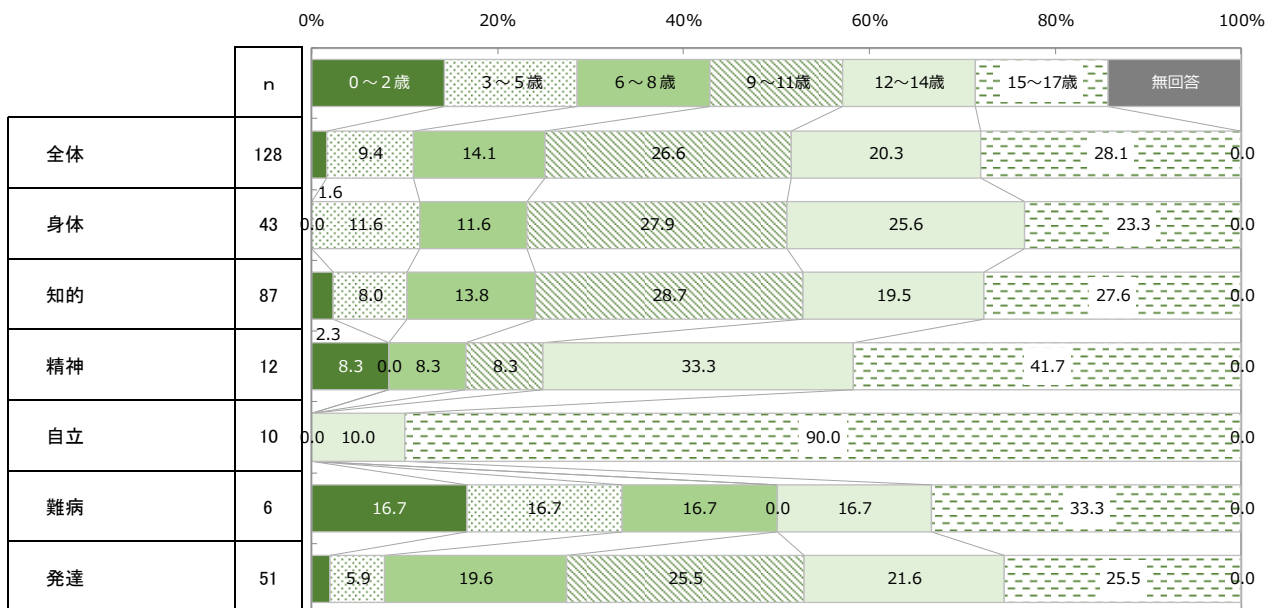
5. 障害児調査の結果

① 子どもの年齢

問 お子さまの年齢をお答えください。(令和元年10月1日現在) (○は1つだけ)

全体でみると「15～17歳」が28.1%と最も高く、次いで「9～11歳」が26.6%、「12～14歳」が20.3%となっている。

障害種別では、自立は「15～17歳」が多く90.0%となっている。



② 同居している人

問 お子さまはどなたと一緒に暮らしていますか。お子さまから見た間柄でお答えください。(○はいくつでも)

全体でみると「お母さん」が99.2%と最も多く、次いで「お父さん」が93.0%、「きょうだい・しまい」が67.2%の割合となっている。

障害種別でも、「お母さん」「お父さん」「きょうだい・しまい」の割合が大半を占めている。

		調査数	お父さん	お母さん	おじいさん	おばあさん	きょうだい・しまい	親せき	福祉施設の職員や仲間	その他
全体		128	93.0	99.2	3.9	4.7	67.2	0.8	0.0	0.0 (%)
障害種別	身体	43	97.7	97.7	2.3	7.0	72.1	0.0	0.0	0.0
	知的	87	92.0	100.0	4.6	2.3	64.4	1.1	0.0	0.0
	精神	12	83.3	100.0	0.0	8.3	66.7	0.0	0.0	0.0
	自立	10	90.0	100.0	0.0	10.0	40.0	0.0	0.0	0.0
	難病	6	100.0	100.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0
	発達	51	88.2	100.0	5.9	3.9	70.6	0.0	0.0	0.0

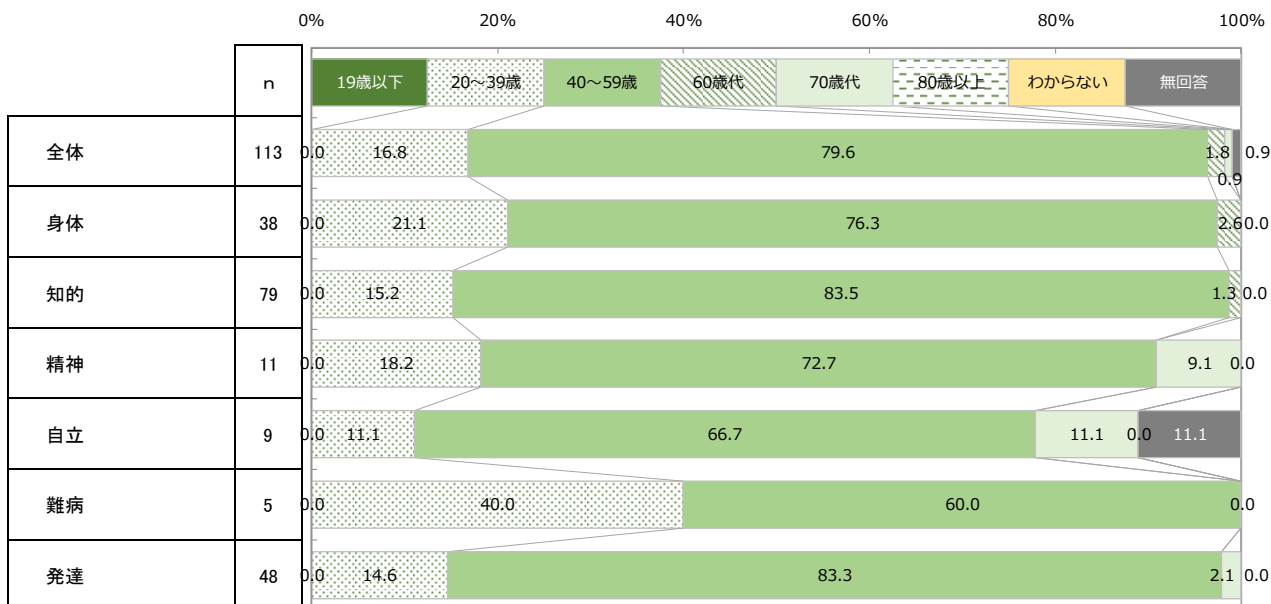
③ 介助・支援者の方の年齢

問 主な介助者の方の年齢をお答えください。

※年齢がわからない場合は「7. わからない」に○をしてください (○は1つだけ)

全体で見ると「40～59歳」が79.6%と割合が多く、次いで「20～39歳」が16.8%の割合となっている。

障害種別で見ると、すべての種別で「40～59歳」が6割以上を占めており、難病では「20～39歳」が40.0%となっている。



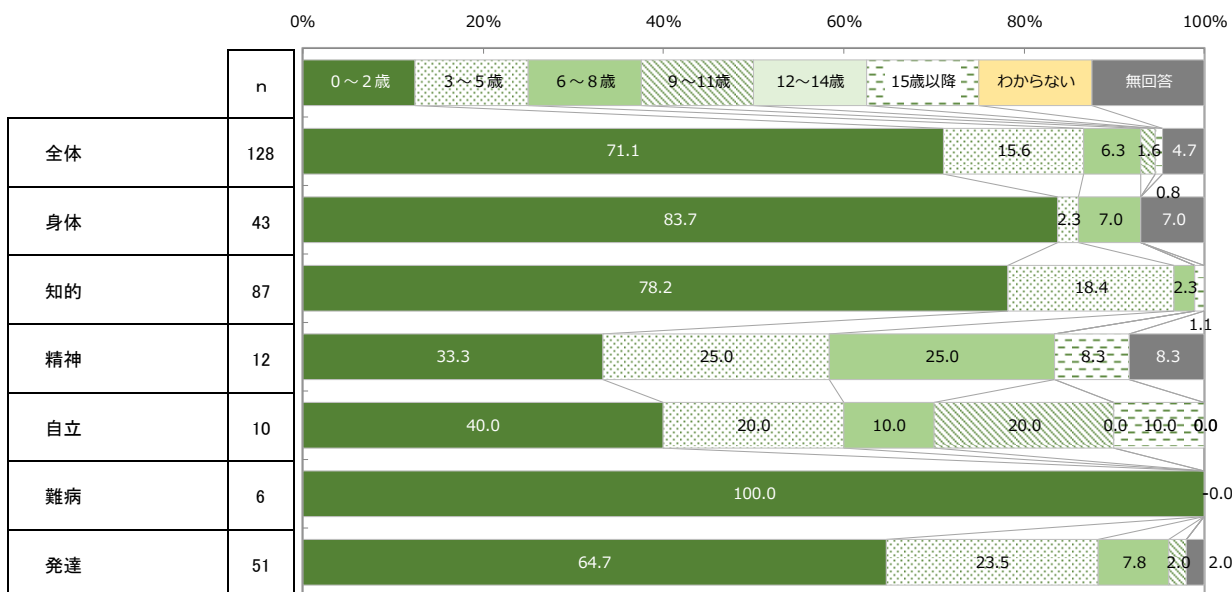
④ 障害に気づいた年齢

問 お子さまに発達の遅れや障害があることに気がついたのは、お子さまが何歳の頃でしたか。

(○は1つだけ)

全体で見ると「0～2歳」が71.1%と割合が高く、次いで「3～5歳」が15.6%、「6～8歳」が6.3%となっている。大半を占めている。

障害種別で見ると、身体・知的・難病・発達は「0～2歳」が高く6割を超えている。一方で、精神・自立は「8歳まで」が7割を占めている。



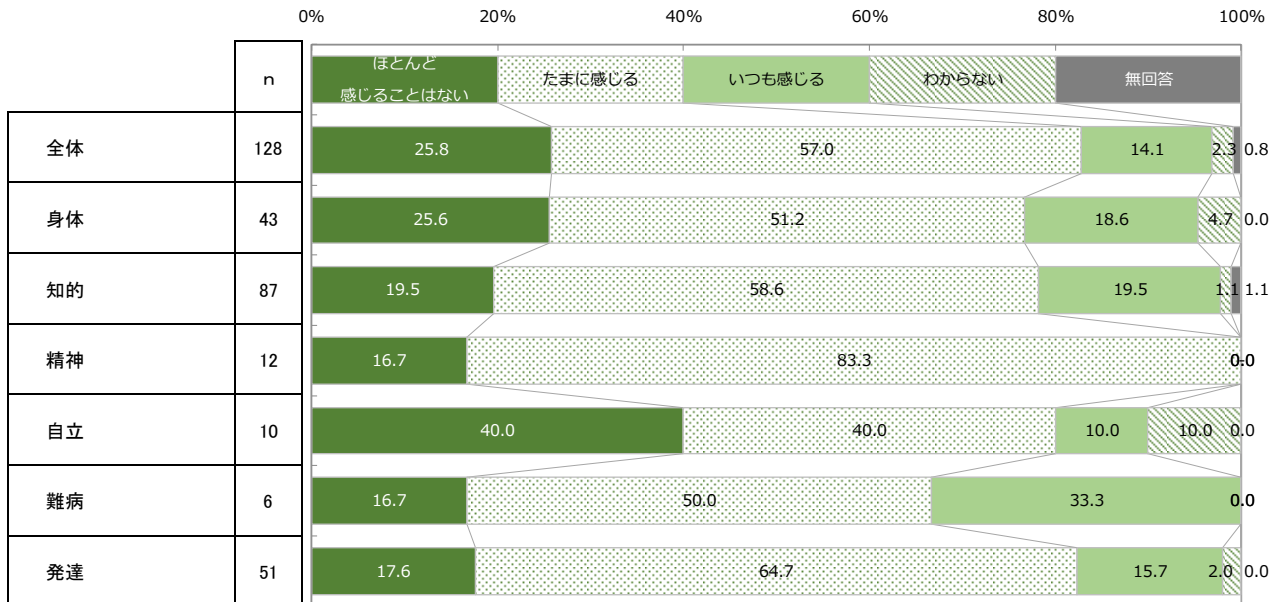
【概要版】

⑤ 差別・偏見を感じたことがあるか

問 この1年間にお子さまの発達や障害を理由とした差別や偏見を受けたり、嫌な思いを感じたことはありますか。(○は1つだけ)

全体でみると「たまに感じる」が57.0%と割合が多く、次いで「ほとんど感じることはない」が25.8%、「いつも感じる」が14.1%の割合となっている。

障害種別でみると、自立では「ほとんど感じることはない」が40.0%となっているものの、すべての種別で「いつも感じる」「たまに感じる」が半数を上回っている。



⑥ 差別・偏見を受けた場所

問 この1年間で差別や偏見を受けたり、嫌な思いを感じた場所などをお答えください。(○はいくつでも)

全体でみると「バスや電車などの交通機関」が52.7%と割合が高く、次いで「スーパーやレストラン」が45.1%、「保育所や幼稚園、学校」が36.3%の割合となっている。

障害種別でみると、知的・自立・発達では「バスや電車などの交通機関」の割合が6割を超えており、精神では「保育所や幼稚園、学校」が60.0%となっている。

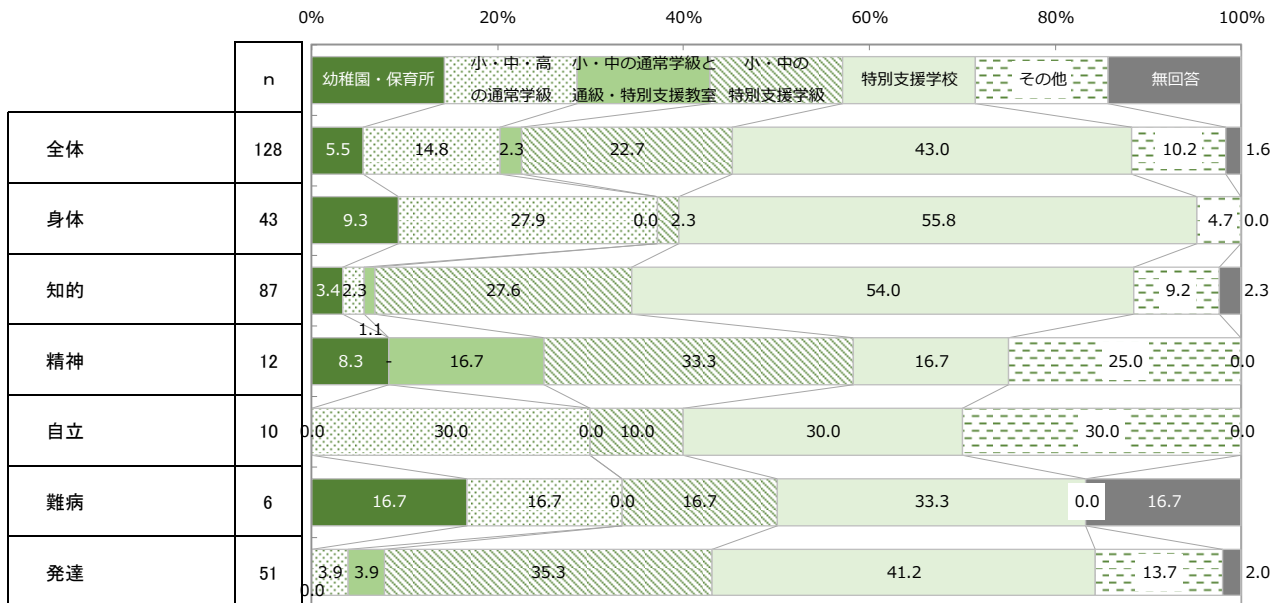
		調査数	保育所や幼稚園、学校	市役所などの公的機関	病院などの医療機関	福祉サービス事業所	スーパーやレストラン	バスや電車などの交通機関	習い事	その他	無回答
全体		91	36.3	8.8	14.3	3.3	45.1	52.7	2.2	18.7	1.1
障害種別	身体	30	40.0	6.7	10.0	3.3	43.3	46.7	3.3	13.3	3.3
	知的	68	29.4	7.4	16.2	1.5	54.4	60.3	1.5	22.1	1.5
	精神	10	60.0	20.0	10.0	10.0	10.0	30.0	0.0	20.0	0.0
	自立	5	40.0	0.0	0.0	0.0	40.0	60.0	0.0	20.0	0.0
	難病	5	40.0	0.0	20.0	0.0	20.0	40.0	0.0	60.0	0.0
	発達	41	26.8	14.6	9.8	2.4	53.7	63.4	0.0	29.3	0.0

⑦ 通学先

問 お子さまの通っている学校などの種類をお答えください。（○は1つだけ）

全体で見ると「特別支援学校」が43.0%と割合が高く、次いで「小学校・中学校の特別支援学級」が22.7%、「小学校・中学校・高校の通常学級」が14.8%の割合となっている。

障害種別で見ると、身体・知的では「特別支援学校」が半数以上を占めている。



⑧ 学校などでの生活で困ること

問 幼稚園、保育所、学校などでの生活で困っていることをお答えください。（○はいくつでも）

全体で見ると「特に困っていることはない」が33.6%と割合が高く、次いで「通うための付き添いの負担が大きい」が27.3%、「先生や職員の理解や配慮が足りない」が19.5%の割合となっている。

障害種別で見ると、身体・知的・難病・発達では「特に困っていることはない」が3割を占めている。精神では「先生や職員の配慮が足りない」が41.7%と高くなっている。

調査数	大きい	通うための付き添いの負担が大きい	備が不十分	トイレなどのバリアフリー設備に不十分	障害を理由にイジメや仲間外れにされる	先生や職員の理解や配慮が足りない	周囲の児童・生徒の理解が得られない	体力がついていけない	学力がついていけない	所調が悪くなったときの居場所がない	介助体制が十分でない	医療的なケアが受けられない	その他	特に困っていることはない	無回答
全体	128	27.3	3.9	5.5	19.5	6.3	11.7	15.6	5.5	7.8	2.3	14.8	33.6	2.3	
障害種別	身体	43	27.9	4.7	0.0	11.6	2.3	20.9	9.3	4.7	4.7	7.0	9.3	34.9	0.0
	知的	87	31.0	4.6	5.7	20.7	5.7	6.9	16.1	8.0	9.2	2.3	11.5	35.6	2.3
	精神	12	25.0	0.0	8.3	41.7	25.0	16.7	25.0	16.7	8.3	0.0	25.0	8.3	8.3
	自立	10	40.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10.0	20.0	10.0	0.0	0.0	40.0	20.0	10.0
	難病	6	33.3	16.7	0.0	33.3	16.7	16.7	16.7	0.0	33.3	0.0	16.7	33.3	16.7
	発達	51	29.4	0.0	5.9	19.6	9.8	5.9	19.6	5.9	9.8	0.0	23.5	29.4	3.9

【概要版】

⑨ 平日の放課後の過ごし方

問 放課後をどのように過ごしていますか。
最も頻度の多い過ごし方をそれぞれお答えください。 (○は1つだけ)

全体で見ると、「家族といる」が34.4%と最も高く、次いで「放課後等デイサービスに行く」が32.8%、「習い事や塾に行く」が6.3%となっている。

障害種別で見ると、自立は「家族といる」が70.0%と高くなっており、その他の種別では半数を下回っている。一方で、知的・難病・発達では「放課後等デイサービス」が高く4～5割となっている。

		調査数	家族といる	放課後等デイサービスに行く	習い事や塾に行く	友達や知り合いとい	児童クラブに行く	ヘルパーなどと外出する	ひとりである	特になにもしていない	その他	無回答
全体		128	34.4	32.8	6.3	2.3	4.7	0.0	2.3	2.3	5.5	9.4 (%)
障害種別	身体	43	48.8	23.3	7.0	2.3	7.0	0.0	0.0	4.7	7.0	0.0
	知的	87	32.2	42.5	3.4	1.1	2.3	0.0	2.3	0.0	3.4	12.6
	精神	12	41.7	8.3	16.7	0.0	16.7	0.0	8.3	0.0	8.3	0.0
	自立	10	70.0	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10.0	0.0	10.0
	難病	6	16.7	50.0	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7
	発達	51	27.5	39.2	5.9	2.0	5.9	0.0	3.9	2.0	5.9	7.8

⑩ 高校卒業後の過ごし方

問 高等学校卒業後、日中をどのように過ごしたいですか。 (○は1つだけ)

全体で見ると「わからない」が22.7%と割合が高く、次いで「会社などで働きたい」が18.8%、「学校に通いたい」が14.1%の割合となっている。

障害種別で見ると、知的・精神・自立・発達で「会社で働きたい」が2～3割となっている。

		調査数	家でのんびりと暮らしたい	会社などで働きたい	作業所などに通いたい	会社で働くのはむずかしいので、技術を身につける訓練をしたい	会社で働けるようになるための訓練をしたい	福祉施設で日常生活を過ごすための訓練をしたい	病院などで日常生活の訓練や介護を受けたい	障害のある人といっしょに、色々な活動ができる場所で過ごしたい	学校(大学や専門学校など)に通いたい	その他	わからない	無回答
全体		128	1.6	18.8	13.3	3.9	4.7	0.8	6.3	14.1	0.8	22.7	13.3 (%)	
障害種別	身体	43	2.3	7.0	4.7	0.0	9.3	2.3	11.6	27.9	0.0	23.3	11.6	
	知的	87	2.3	19.5	18.4	4.6	5.7	1.1	8.0	2.3	1.1	20.7	16.1	
	精神	12	0.0	33.3	16.7	8.3	0.0	0.0	0.0	8.3	0.0	33.3	0.0	
	自立	10	0.0	20.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	30.0	0.0	30.0	0.0	
	難病	6	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	50.0	
	発達	51	0.0	25.5	17.6	7.8	2.0	0.0	2.0	3.9	0.0	29.4	11.8	

⑪ 障害福祉サービスの利用状況

問 お子さまは、次の障害福祉サービスを過去1年間に利用したことがありますか。
 利用したことがあるサービスに○をつけてください。（○はいくつでも）

全体でみると「放課後等デイサービス」が50.8%と割合が高く、次いで「利用したことがない」が31.3%、「相談支援」20.3%の割合となっている。

障害種別でみると、知的・難病・発達で「放課後等デイサービス」の割合が高く、身体・精神・自立で「利用したことがない」の割合が高くなっている。

		調査数	訪問系サービス	短期入所（ショートス）	相談支援	児童発達支援	放課後等デイサービス	保育所等訪問支援	利用したことがない	無回答
全体		128	10.9	7.0	20.3	18.0	50.8	0.8	31.3	3.1 (%)
障害種別	身体	43	11.6	11.6	16.3	11.6	34.9	0.0	46.5	4.7
	知的	87	13.8	9.2	25.3	20.7	67.8	1.1	14.9	1.1
	精神	12	8.3	0.0	16.7	8.3	25.0	0.0	66.7	0.0
	自立	10	20.0	10.0	40.0	0.0	40.0	0.0	60.0	0.0
	難病	6	33.3	0.0	33.3	33.3	50.0	0.0	33.3	0.0
	発達	51	11.8	7.8	15.7	19.6	58.8	0.0	29.4	2.0

⑫ 災害で不安なこと

問 地震や台風などの災害が起こったときの不安なことをお答えください。（○はいくつでも）

全体でみると「避難所での他人とのコミュニケーション」が52.3%と最も高く、次いで「障害の特性上、避難所にいることが困難」が49.2%、「避難時に介助してくれる人がいない」が28.1%の割合となっている。

「避難所での他人とのコミュニケーション」は障害種別でみると、身体以外で半数を上回っている。

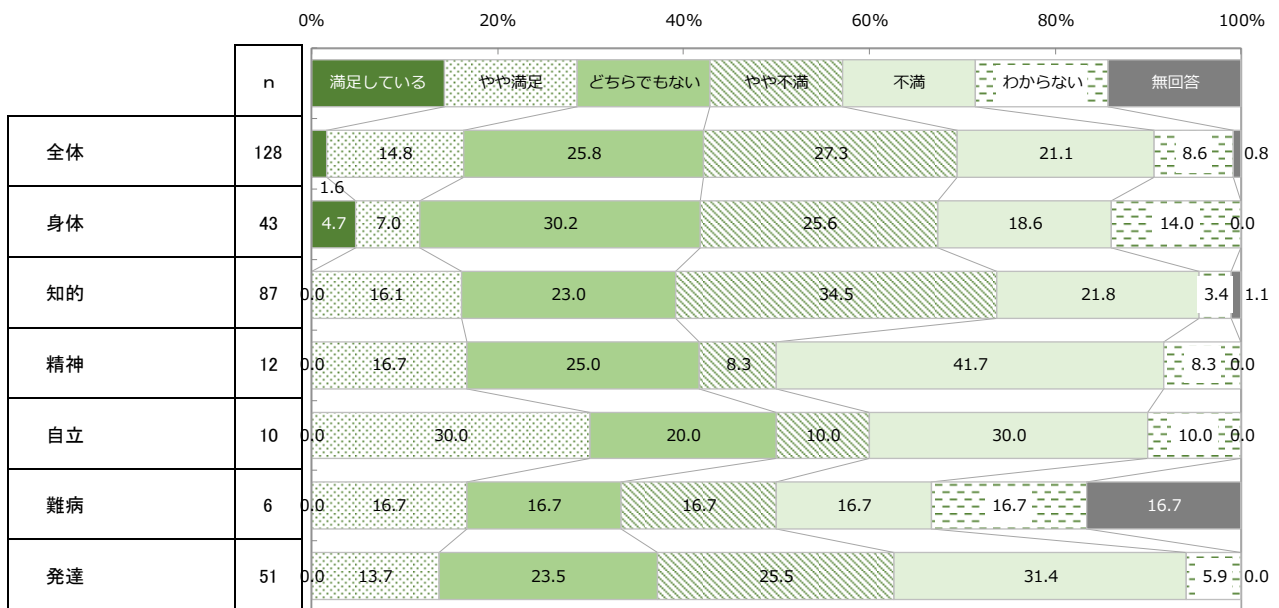
		調査数	避難所の場所がわからない	災害や避難の情報の入手方法がわからない	避難時に介助してくれる人がいない	助けを呼ぶための手段がない	避難所で十分な医療的ケアが受けられない	避難所での十分な医療的ケアが受けられない	障害の特性上、避難所にいることが困難	避難所での他人とのコミュニケーション	その他	特になし	無回答
全体		128	13.3	20.3	28.1	9.4	14.8	49.2	52.3	11.7	10.9	1.6 (%)	
障害種別	身体	43	14.0	20.9	37.2	11.6	27.9	41.9	32.6	18.6	14.0	0.0	
	知的	87	14.9	19.5	33.3	10.3	14.9	60.9	62.1	10.3	8.0	2.3	
	精神	12	8.3	16.7	33.3	25.0	8.3	50.0	58.3	0.0	8.3	0.0	
	自立	10	0.0	20.0	20.0	0.0	10.0	40.0	50.0	0.0	30.0	0.0	
	難病	6	16.7	16.7	16.7	16.7	33.3	66.7	50.0	16.7	0.0	0.0	
	発達	51	11.8	17.6	25.5	7.8	11.8	66.7	72.5	9.8	3.9	0.0	

⑬ 障害者施策に満足しているか

問 西東京市の障害児施策全般について、総合的に満足していますか。 (○は1つだけ)

全体で見ると「やや不満」が27.3%と最も高く、次いで「どちらでもない」が25.8%、「不満」が21.1%となっている。

障害種別で見ると、知的・発達で「不満」「やや不満」が半数を上回っている。「満足」「やや満足」は自立で高く30.0%となっている。

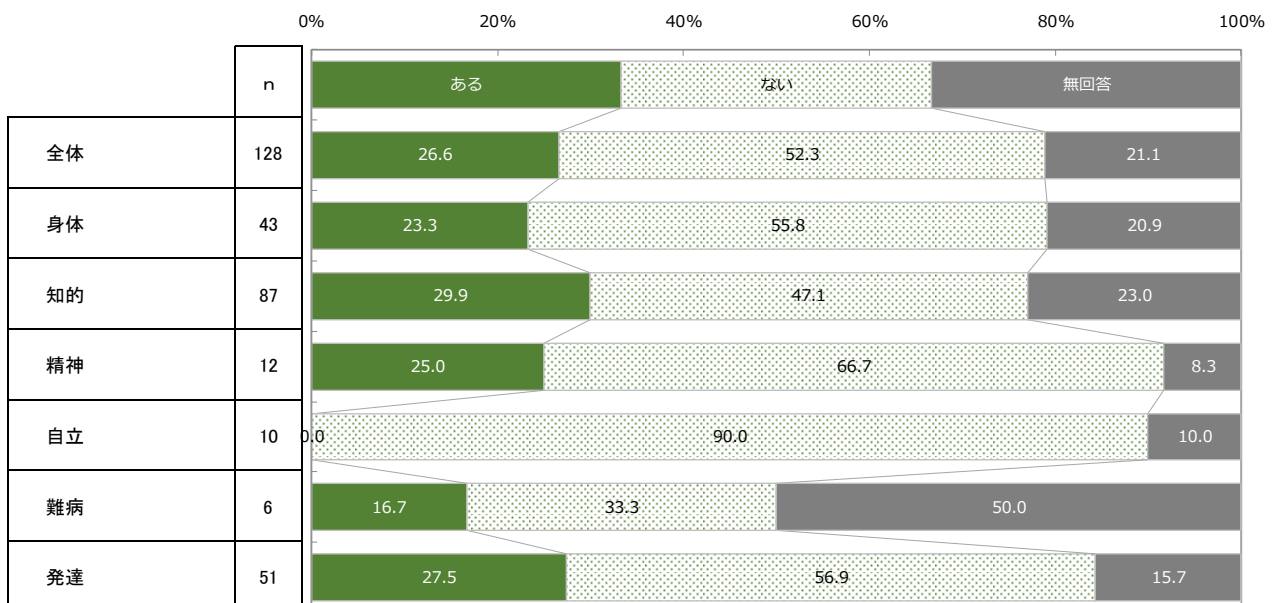


⑭ 自宅以外に居心地のいい場所

問 自分のお家以外に、西東京市内に居心地のいい場所がありますか。 (○は1つだけ)

全体で見ると「ない」が52.3%と最も高く、次いで「ある」は26.6%となっている。

障害種別で見ると、自立では「ない」が90.0%となっている。



6. 施設入所者調査の結果

① 地域生活への移行を考えている西東京市の入所者

問 貴事業所の利用者で、西東京市が援護の実施者となっている方のうち、地域生活への移行を希望している方はいますか。いる場合はその人数もお答えください。（〇は1つだけ）

全体でみると、「いる」は8.3%となっており、平均人数は1.0人（総数3人）となっている。

事業所の所在地別でみると、『東京都内』の事業所では「いる」が11.8%（2人）となっており、『東京都外』では5.3%（1人）となっている。

地域移行実績の有無でみると、『実績がある』では「いる」が14.3%となっており、『実績がない』事業所では0%となっている。

【意向のある人の有無】

		調査数	いる	いない	
全体		36	8.3	91.7	(%)
対象者	身体障害者	7	14.3	85.7	
	知的障害者	31	6.5	93.5	
	精神障害者	2	50.0	50.0	
	重症心身障害者	0	0.0	0.0	
	その他	0	0.0	0.0	
所在地	東京都内	17	11.8	88.2	
	東京都外	19	5.3	94.7	
行地実績移行	ある	21	14.3	85.7	
	ない	15	0.0	100.0	

【意向のある人の数】

		調査数	平均人数
全体		3	1.0 (人)
対象者	身体障害者	1	1.0
	知的障害者	2	1.0
	精神障害者	1	1.0
	重症心身障害者	0	0.0
	その他	0	0.0
所在地	東京都内	2	1.0
	東京都外	1	1.0
行地実績移行	ある	3	1.0
	ない	0	0.0

② 地域生活への移行の課題

問 入所者の地域生活への移行を進める上での課題と思うことについてお答えください。
(〇はいくつでも)

全体でみると、「利用者本人のニーズ把握」が72.2%と最も高く、次いで「地域における障害への理解促進」と「利用者家族の高齢化」がそれぞれ63.9%、「移行後の住まいの確保」が50.0%となっている。

事業所の所在地別でみると、『東京都内』では「利用者の収入確保」「福祉サービス事業者への引継ぎ」「医療機関との連携」が高くなっている。一方で『東京都外』では「利用者家族の高齢化」「移行後の住まいの確保」が高くなっている。

地域移行実績の有無でみると、『実績がある』事業所では「福祉サービス事業者への引継ぎ」が42.9%となっており、『実績がない』事業所の6.7%に比べて高くなっている。

		調査数	利用者本人のニーズ把握	重症心身障害者の増加	利用者家族の高齢化	地域移行支援の認知度	移行後の利用者の収入確保	移行後の住まいの確保	福祉サービス事業者への引継ぎ	医療機関との連携	相談支援機関との連携	移行先の地方自治体との連携	地域における障害への理解促進	その他
全体		36	72.2	19.4	63.9	25.0	30.6	50.0	27.8	30.6	33.3	27.8	63.9	8.3 (%)
対象者	身体障害者	7	71.4	57.1	57.1	14.3	28.6	85.7	57.1	71.4	42.9	42.9	71.4	0.0
	知的障害者	31	74.2	16.1	67.7	25.8	29.0	45.2	19.4	25.8	29.0	25.8	64.5	9.7
	精神障害者	2	50.0	50.0	100.0	50.0	0.0	100.0	0.0	50.0	50.0	50.0	50.0	0.0
	重症心身障害者	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	その他	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
所在地	東京都内	17	82.4	23.5	58.8	17.6	41.2	41.2	41.2	41.2	35.3	29.4	64.7	5.9
	東京都外	19	63.2	15.8	68.4	31.6	21.1	57.9	15.8	21.1	31.6	26.3	63.2	10.5
地域移行実績	ある	21	76.2	19.0	66.7	23.8	33.3	52.4	42.9	33.3	38.1	23.8	61.9	4.8
	ない	15	66.7	20.0	60.0	26.7	26.7	46.7	6.7	26.7	26.7	33.3	66.7	13.3

令和元年度実施 西東京市の障害者福祉に関する調査報告書【概要版】

令和 2 年 3 月

西東京市 健康福祉部 障害福祉課

〒188-8666 東京都西東京市南町五丁目 6 番 13 号（田無庁舎 1 階）

電話 042-464-1311（代表） FAX 042-466-9666